

産業廃棄物処理計画書

令和2 年 6 月 30 日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿



提出者

住 所 宮崎県えびの市大字原田1861番地43

氏 名 有限会社 大木場産業

代表取締役 大木場富士夫

電話番号 0984-33-4439

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 大木場産業
事業場の所在地	宮崎県えびの市大字原田1861番地43
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	12000万円
③従業員数	8人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR     A[建設現場] --&gt; B[収集運搬 (委託または 一部自社運)]     B --&gt; C[中間処分場]     B --&gt; D[最終処分場]             </pre>

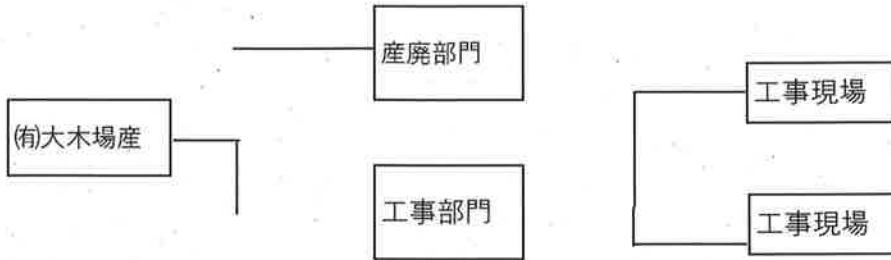
(日本工業規格 A列4番)

X-111

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1	①現状のとおり
	排出量	別表1	①現状のとおり
	(これまでに実施した取組)		
別表1のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2	①計画のとおり
	排出量	別表2	①計画のとおり
	(今後実施する予定の取組)		
別表2のとおり			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
別表1のとおり	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
別表2のとおり	

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1	①現状のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別表1	①現状のとおり
	(これまでに実施した取組)		
			別表1 現状のとおり
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2	②計画のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別表2	②計画のとおり
	(今後実施する予定の取組)		
			別表2 計画のとおり
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1	①現状のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別表1	①現状のとおり
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2	②計画のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別表2	②計画のとおり
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1	①現状のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別表1	①現状のとおり
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2	②計画のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別表2	②計画のとおり
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別表1	①現状のとおり
	全処理委託量	別表1	①現状のとおり
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	別表2 ①現状のとおり		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別表2	②計画のとおり
	全処理委託量	別表2	②計画のとおり
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

別表1

産業廃棄物処分の種類		焼却処分	管理型埋立	資源利用		再生利用				
産業廃棄物の種類	全排出量	木くず	石膏ボード	石綿含有廃棄物	プラスチック	コンクリート	アスファルト	木くず	その他がれき類	ガラス陶磁器くず
優良認定処理業者		4.26	4.28	3.81	2.97	539.18	470.78	84.69	34.94	18.6
再生利用業者								34.38		
認定熱回収施設設置業者										
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者		4.26								
自ら行う産業廃棄物の再生利用量						539.18	470.78	50.31	34.94	51.08
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分量			4.28	3.81	2.97					
これまで実施した取り組み										
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項										
産業廃棄物の分別に関する事項										
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項										
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項										
産業廃棄物の処理の委託に関する事項										

前年度（2019年度）実績

① 現状

排出の際現場で手作業等による分別の徹底

建設現場内で木くず等の分別集積場を設けて分別を行っている。

自社処分場にて破砕処理を行い、再生クワリッシュラン・再生砂を販売する。木くずにおいては破砕したものを近隣の温泉施設へ無償提供している。また製品は自社の工事現場でも利用している。

現場にて手作業でも分別困難な廃棄物の処分を行っている。

宮崎県から許可を受けた産業廃棄物処理業者と契約し処分を依頼している。

別表 2

産業廃棄物処分の種類	焼却処分	管理型埋立	再生利用					
			石膏ボード	石綿含有廃棄物	廃プラスチック	コンクリート	アスファルト	木くず
廃棄物の種類	木くず	石膏ボード	石綿含有廃棄物	廃プラスチック	コンクリート	アスファルト	木くず	その他がれき類
全処理委託日標量 (t) 前年度 - 1%	4.21	4.23	3.7	2.9	533.78	466.07	83.84	34.59
優良認定処理業者								
再生利用業者							34.38	
認定熱回収施設設置業者								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	4.21							
自ら行う産業廃棄物の再生利用量					533.78	466.07	49.46	34.94
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分量		4.23	3.7	2.9				
今後実施する予定の取組								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
産業廃棄物の分別に関する事項								
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項								

今年度 ( 2 年度 ) 計画

② 計画

前年度同様に現場作業員や業者への分別の周知徹底

前年度と同様の取り組みを徹底する。

自社処分場にて破碎処理を行い、再生クラッシュランとして販売を行っている。また一